

日工同窓会2024年度総会開催

年度 日工同窓



今泉会長挨拶

去る3月22日(土)日立シビックセンターの第1〜3会議室を使用して第1部の総会を、第2部の懇親会を隣接するマールホールにて開催した。総会は総務の中澤主査の司会進行で始まり、今泉会長の挨拶、鈴木代表副会長から各委員会の活動報告と2025年度活動方針説明があった。続いて在会30年・15年表彰、特別功労者表彰があり、被表彰者を代表して阿部公太氏(80卒・水戸)が謝辞を述べた。最後に校歌を斉唱し第1部の総会は終了した。

本日は休日にも関わらず、ご多用の中、2024年度総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

既に新聞報道されていますので、皆さんご存知だと思いますが、4月から日立製作所の社長が交替となります。徳永俊昭さん(この「徳」の字、正しくは右側の心の右側に「横棒一本」が入る)1967年3月生まれで58歳。この方が歴代の社長で異例なのは、まず、日立市で生まれ育った初めての

今号の主な内容

2024年度総会 会長挨拶、活動報告、次年度方針 1〜2面	3面
被表彰者代表謝辞	3面
2025年度役員	4面
代表副会長後退挨拶、	
在会30年(80卒)同期会	5面
勝田地区「卒回の集い」、	
在会15年(95卒)同期会	6面
第110回卒業生と事業所担当	7面
学校だより	8〜10面
本部会員の頁	11〜12面
日専校歴史写真、消息、編集後記	13面
日専校お知らせ	14面

社長であること。

歴代の社長の出身地を思い返してみますと、一番多いのは東京出身、創業の地の日立市、茨城出身の方はゼロだったんですね。

しかも、ご尊父も日立の社員だったそうで、「親子2代の日立社員」で社長になるのも初めて。大学では機械工学を専攻されていたのに、日立では入社以来SEIシステムエンジニアなどIT・情報部門一筋、というのも異例だと思えます。

新しい体制も、大きく変わります。IT関係の「デジタルシステム&サービス事業」、原子力やパワーグリッドII送配電網の「エナジー事業」、鉄道の「モビリティ事業」、エレベータ・エスカレーターや産業全般の「CI(コネクティブ



同窓会ホームページはスマートフォン等からも上記のQRコードを読み取るだけで簡単にアクセスが可能です!

「インダストリーズ」事業の4セクター／事業部門体制になります。

しかも、このセクターを率いる幹部は、「デジタルシステム&サービス事業」だけは日本人の阿部副社長ですが、あとの3つのセクターは外国人の副社長や専務です。

そして、この4つのセクター／事業部門共通で、つまり、IT部門だけでなく、モノづくりにおいても「デジタル化をさらに加速させてOne Headの価値を創出する」との方針が出されています。

キーワードは会社幹部も外国人になるような「グローバル化」と、モノづくりも含めた「デジタル化」です。日専校も、この動きと決して無縁ではありません。いや、この動きに対応することが求められています。

現に、東原会長から「モノづくりの継承は重要課題だ。そのために、日専校はドラスティックな「根本的でない切った」改革が必要だ。匠の人が誇りを持てる環境を作り、デジタル武装した匠の育成を行わなくてはならない。

(1頁の続き)

現場レベルでDX「デジタルトランスフォーメーション」が次々に生み出せるようなデジタル人財やグローバル対応力を持った人財の育成を考えるべきだ。日専校が、グローバルなモノづくり人財育成の中心となれ。海外の人財も含めて人財育成を行え。グローバル対応力育成のために、生徒を海外に実習に出すことも検討しろ」との大きな宿題をいただきました。

そして、徳永新社長からも「日立市および茨城県に産業を興していく取組みの中に様々な人財開発の機能があつて、そのなかのひとつを日立が担っていく。日専校や日立のモノづくり人財育成機関が、日立地区における学校選択肢の1つのブランドになれば、非常に良い戦略になる」と、おっしゃっていただいています。

また、とある社外取締役からは、「日立には、日専校という優秀なモノづくり人財を輩出している素晴らしい学校がある。この学校の卒業生をもっと大切にしなくてはいけない」と言っていたきました。

つまり、今、日専校に「フォローアップインダー追いつく風」が吹いているんです。いや、サーフィンで、水曜日にやってくる伝説の大波を「ビッグ・ウェンズデー (Big Wednesday)」と言います。それが、それくらいの大波が来ているのです。この波に乗る、日専校の2世紀目は、今から始まると言っても過言では

ありません。

そこで、26年度―再来年度から、1・2年生時に全員に、従来の溶接、機械電気といった基幹技能だけでなく、グローバル標準であるデジタルな生産システムを学ばせる「デジタル基礎教育」をカリキュラムに加えます。25年度の1年間で具体的なカリキュラムの検討や、E.ON Energy 4.0というドイツ製のスマートファクトリーのラーニングシステムの導入を考えています。

また、老朽化した寮や校舎の建替えの話も、進み始めました。さて、日専校のご紹介です。

3月19日に第110回の卒業式が行われ、54名が無事卒業致しました。

昨年の卒業式には、初めて本社から人事担当役員に来ていただきましたが、今年も、昨年来ていた田中執行役常務の後任の瀧本さんに来賓としてご臨席いただき、式終了後に卒業生一人一人に「よろしく」と声を掛けながら、握手をしてもらいました。

25年度・今年春の新入生は24年度と同じ75名です。今年の茨城県の県立高校の入試倍率は0.99倍で1倍を切っていますが、日専校は昨年比23名増で119名の受験者で倍率1.6倍でした。

また、茨城県内の受験者が8割を占めていますが、他にも、北海道、東北、中部北陸、南関東、中国、近畿、九州と全国にわたっています。

さらに、女子生徒の合格者が9名と、昨年の5名からほぼ倍増、行く行くは、

女子生徒の比率を1学年15名・2割くらいまで増やしたいと思っています。

2025年度・来年の配属要望数は、現時点で各社・事業所さんから昨年並みの要望をいただいています。

同窓生の活躍のお陰で、本社の幹部からも、日専校が大いに注目されています。この流れにうまく乗って、2世紀目の日専校の新たな方向性の道筋をつけるのが、校長であり、同窓会の会長である、私の役割だと思っています。どうか、同窓会の皆さんの変わらぬご支援をお願い申し上げます。

〈歴代社長出身地〉

初代	平田健一	茨城県	(1929年～1947年)
2代	小倉駒吉	東京都	(1947年～1961年)
3代	駒吉三金	東京都	(1961年～1971年)
4代	山田博勝	東京都	(1971年～1981年)
5代	井山悦一	東京都	(1981年～1991年)
6代	三井隆	東京都	(1991年～1999年)
7代	古川宏明	東京都	(1999年～2006年)
8代	川村昭二	北海道	(2006年～2009年)
9代	中西敏啓	神奈川県	(2009年～2010年)
10代	東島俊昭	神奈川県	(2010年～2014年)
11代	小徳	東京都	(2014年～2021年6月)
12代		東京都	(2021年6月～2025年3月)
13代		茨城県	(2025年4月～)

各委員会の活動報告および2025年度活動方針



鈴木代表副会長
(71卒・日高)

活動報告

1. 総務委員会
①役員会3回、副会長主査会議5回、総務委員会10回、支部長研修会を8月に実施した。
②招待いただいた支部行事へ役員を派遣し、交流を深めた。
2. 企画委員会
①計画した同期会を全て実施した。
- ②女性会員懇談会を10月に実施した。
3. 広報委員会
①会報464号、468号までの5号を発行した。
②メダリスト座談会を実施し会報に掲載した。
4. 本部会員運営委員会
①わが宿の集いを11月に実施した。
②NS会ゴルフコンペを10月に実施した。
③日専校でのボランティア活動を5月と11月に実施した。

2025年度活動方針

「企業は人なり」の理念に基づき日立創業と同時に設立された母校日専校の卒業生であること、日工同窓会の会員であることに誇りをもち会社・社会に貢献すべく、2025年度の活動方針を以下の通り定めます。

【基本理念】

日工同窓会の会員として日立創業の精神に倣い「和」「誠」「開拓者精神」をもつて「モノづくりの心」を後進に伝えます。

【活動方針】

- ①学校と同窓会との連携強化により会員に関する情報共有と支援、後進の育成に努める。
- ②「次世代を担う人財」を育成しつつ、技術・技能を研鑽し自らの力量を高める努力をする。
- ③支部を支援し、全会員が活発に活動できる組織をめざす。
1. 総務・企画委員会
①名称を「総務・企画委員会」と改めて、総務と企画の業務を併せた委員会として運営する。
- ②事務局と連携し、同期会を開催する。
- ③支部構成基準を満たす事業所の支部設立を支援する。

(3頁へ続く)



在会15年表彰
代表受領：栗生 和 氏



在会30年表彰
代表受領：倉盛 英則 氏

(2頁の続き)

2. 広報委員会

①会報469号と472号までの4号を発行する。

②会員の活躍、支部や地区の活動を会報へ掲載し、同窓会のPRを行う。

3. 本部会員運営委員会

同窓会活動を通して「社会に貢献する」と共に会員各位が「シルバーライフを楽しむ」ことである。

①わが宿の集いを9月20日に実施する。

②グラウンドゴルフ大会を6月13日と

9月26日に実施予定。

③ボランティア活動として日専校の桜樹木周辺の草刈りを5月24日と11月15日に実施する。

2024年度

被表彰者代表謝辞



阿部 公太 氏
(80卒・水戸)



特別功労者表彰
代表受領：高橋 忍 氏

日工同窓会在会30年、在会15年表彰、特別功労者の榮譽に浴することは誠に光栄であります。同窓会在会30年、第80回卒業生を代表して、僭越とは存じますが御礼の言葉を述べさせていただきます。

まず初めに、この栄えある日を迎えられたのは、会社関係者、日工同窓会事務局ならびに同窓会の皆様、諸先輩のご指導・ご鞭撻をいただいたことであり、また後輩の皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。また、これまで支えてくれた家族にも感謝を伝えたいと思います。

さて、私達80回卒は、1992年春乾坤に回る4月、新しい世界への第一歩として日専校に入学しました。世の中はバブルが弾けた直後になりますが、親元を離れ新一年生となった10代半ばの私達にとって、最も重要なテーマは、厳しい毎日の寮生活の現実を受け入れることでした。大きな声での挨拶、朝晩の点呼・寮歌斉唱、毎朝のベッドメイキング、部屋と共同場所の清掃、夕食後の自習時間、とても短い自由時間、先輩方からのご指導。これらの規則正しい生活と行動習慣は、今振り返って見ると、私達の今後の高校生活・社会人生活を送り抜く上での土台、基礎作りになっていたと思います。

学校生活においては通常の授業の他に日専校ならではの工場出身のバックグラウンドを持つ先生方も多くいらつしやり、厳しさの中にも笑いあり涙ありのご指導をいただきました。ちなみに電気の授業で習った「黒ゼロ黒い礼服、赤2赤いニンジン」といったカラー抵抗の読み方は、今でも覚えています。学校生活を送りながらも、日立製作所のスケールの大きさを実感したのは、日立工場の大運動会に日専校枠で参加したときでした。いつ終わるか分からない大人数の入場行進には圧倒されましたし、自分達もこの大きな日立グループの一員になったことを嬉しく思いました。

その他の学校行事として1日ホームルーム、鎌倉・箱根研修旅行、ニュー



ジールランド旅行、10kmマラソン、夜通しの歩く会、水泳大会、スキー研修、アメリカホームステイなど、様々な行事はとても良い思い出になっています。

そして我々80回卒3年生134名は、夏休みが終わった平成6年9月26日、日立製作所・日立電線・日立化成工業・日立マクセルといった25の工場・事業所・研究所に配属され工場実習をスタートしました。当時の私の実習報告書の実習初日には、「日専校の先輩方がいて安心したこと、早く工場生活に慣れたい、一番下なので何事にも挑戦したい」と書いてありました。皆、それぞれの実習先で18歳の多感な高校生は、社会の入り口を一足早く経験し、一日も早く職場に慣れ、一人前になりたいという意気込みでした。職場の先輩方、特に日専校の先輩方から優しく

工場生活を教わり、先輩方がとても頼もしかったのを覚えています。本当に感謝しかありません。

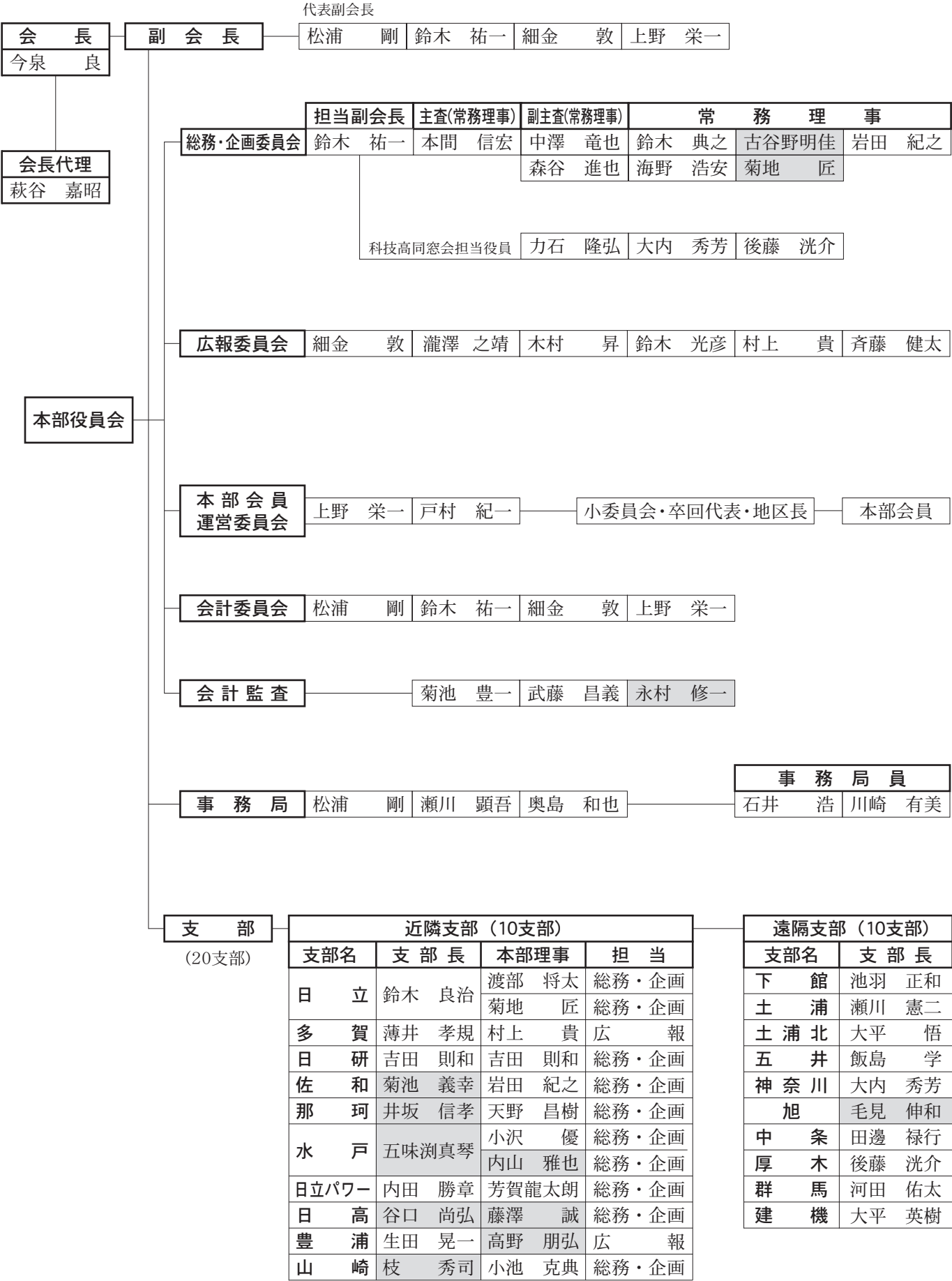
その後、無事工場実習を終え、卒業してから早30年が経ちました。この30年間で世の中や社会環境も地球規模で大きく変わり、当然ながら日立も、そして私達の生活も大きく変化しました。引き続き日立で働く者、事業再編により関連会社や日立グループ外に転籍となった者、職業・立場・役割は様々ですが、それぞれの場所でも中堅・ベテランとして第一線で活躍しております。

また、本日こうして久々に仲間と再会することが出来たことに深く感謝を申し上げます。この後の懇親会で思い出話を花を咲かせたいと思います。

最後になりますが、平成7年3月発行の「灯」第58号に掲載された内藤校長先生の言葉で締めくくりたいと思います。

「新しい制服で卒業する君達へ。制服が詰襟からブレザーへと時代と共に変わった様に、君達も常に挑戦することを忘れずに、新しい時代を生き抜いてくれることを信じている。」とございます。私達はこの30年の新しい時代を生き抜いて参りましたが、本日の記念すべき日を機に次の30年に向け、今後とも常に挑戦することを忘れず、なお一層精進することをお誓い申し上げます。御礼の言葉とさせていただきます。

2025年度 日工同窓会役員組織図



新任を示す

代表副会長交代

離任あいさつ



鈴木代表副会長

新緑の候、会員の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、日工同窓会代表副会長を退任いたしました。在任中にご支援をいただいた会員の皆さまに厚く御礼を申し上げます。振り返りますと、前任者である永村さんの後を継ぎ就任した2021年は、コロナ禍の影響で社会全体に行動自粛が求められる最中にありました。感染の不安に加え、当時はこの災禍がいつまで続くのか見通せない状況に、皆さまも日常に不便を感じていたことと思います。この期間は本会においても活動の自粛、または縮小によって親睦や交流の機会が持てず、このまま同窓会が衰退するのでは、との不安の声も聞かれ、私自身も就任以来、行事を催せない状況に歯がゆさを感じておりました。感染予防に配慮しつつ運営を継続しておりましたが、この間には多くの先輩方や会員

の皆さまから助言と協力をいただき、大変勇気づけられました。

一昨年の夏ごろから漸く支部の交流行事も再開されるようになり訪問させていただいた支部の賑わいから、会員の皆さまも活発な同窓会活動の再開を待ち望んでいたのだと、改めて実感することができ、うれしく思いました。このような交流の輪を通して、これからも皆さまと一緒に本会を盛り上げ、次代に繋ぎたいと考えております。今後についてです

が、これまでは主に総務委員会を担当していましたが、本年度から委員組織の見直しで新たに組織された「企画総務委員会」の担当副会長を務めさせていただきます。引き続き、ご指導賜りますようお願い申し上げます。代表副会長退任のご挨拶とさせていただきます。

就任あいさつ



松浦代表副会長

この度、2025年度より代表副会長に就任いたしました。

近年、私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しております。分社化や事業の再編、拠点の閉鎖・移動

今まで配属のなかった事業所への新会員の配属、さらに一昨年に自粛要請が解除されたものの、コロナの影響による数年間にわたる集合行事の中止など、同窓会としても経験したことのない事象が次々と起こっております。

今後この環境の変化は続くと思われるので、同窓会としてもスピード感を持つて柔軟に対応していく必要があると感じております。

母校である日専校は、現在、設備の更新計画があるとのことですが、そのキーワードはデジタル化とグローバル化です。同窓会としても会員の皆様に身近に感じていただけるよう、デジタルを活用した活動内容の見える化や行事情報の連絡方法などを検討していきたいと考えております。

また、事業再編により日立グループから離れた会員も相当数いらっしゃる状況となっており、そのような方々から「同窓会も退会する」という声も聞こえてきます。同窓会は横のつながりの場ですので、そのような声が出ないよう、在り方を模索していきます。

日工同窓会は、105周年の節目の年を迎えます。この会が110年、200年と未来につながりますよう、皆様のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

在会30年(80卒)同期会が総会後開催される!

去る3月22日(土) 総会終了後にテラスザスクエア日立にて、80回卒の同期会が開催された。

同期会は総会参加者の16名と本部会員外の7名も加わり総勢23名での実施となった。

卒業以来、30年ぶりに顔を合わせた仲間もあり、お互いの成長の証?

を確認し合い最初から皆で大盛り上がり。

まずは全員で記念撮影し、中村和哉君の素敵な挨拶と乾杯でスタートした。見た目は大人でも心は直ぐに学生時代に戻り、寮生活や行事などの懐かしい思い出話が会場内に咲き乱れて終始笑いが絶えない会となった。

予定された時間は瞬間に過ぎ、一次会の締めは輪となり寮歌大合唱。その後も皆で街に繰り出し、気付けば終電間際まで(以降の方も?)の会合となり、最後、再会を誓い惜別の思いで散会となった。

今回、少数精鋭ではあったが非常に盛り上がり良い会となった。本会を機にSNSの繋がりが出来たので、今回参加出来なかった会員や、事業や色々な事情で同窓会を離れる事になった仲間とも繋がって同期の輪が広がる事を望みたい。そして次回、たくさんの同期で開催できるのを楽しみにしている。

記 倉盛 英則



勝田地区「卒回の集い」が開催される！

2025年2月14日（金）18時20分よりホテル・クリスタルパレスに於いて、勝田地区恒例の「卒回の集い」を開催した。

コロナ禍の影響で5年ぶりの開催となった当日は、来年度定年を迎えられる69回卒2名をはじめ、91回卒4名、101回卒9名、来賓・幹事12名の計27名の参加となった。勝田地区大野会長、同窓会本部 鈴木代表副会長よりご挨拶をいただき、勝田地



区小野寺副会長の乾杯の発声で宴会がスタートした。

卒回や支部の垣根を越えた座談にて懇親を深め、卒回毎にひと言ずつ近況報告をもらった後にお楽しみ大



【91回卒】



【101回卒】



【抽選会】

抽選会を開催、参加が少なかったこともあり卒回対象者全員に景品が行き渡り大いに盛り上がった。宴の最後は全員で輪になり恒例の校歌・寮歌を斉唱し、勝田地区の結束をより高めることができた。

2024年度の卒回対象者数が58名に対し参加者数は15名（参加率約3割）と低迷した一方で、101回卒の参加率が最も高く、コロナ禍でも若年層における同窓会行事への関心度が維持されていたものと感じ、今後の勝田地区の更なる発展を大いに期待するイベントになった。

近藤 正樹（77卒・那珂）

在会15年（95卒）同期会

2022年3月22日（土）、ホテルテラスザスクエア日立において、在会15年（95卒）同期会が開催された。卒業して以来久々に同級生と会う機会となり、学生時代の思い出話



日高支部編集委員研修会開催

2025年4月11日退勤後、日工同窓会館にて第1回日高支部編集委員研修が行われた。退勤後の腹ペコ達である。研修はまず腹ごしらえから始まった。鈴木シェフのスペシャルコース9品の始まりである。これぞ満漢全席！勿論、食べるだけが研修ではない。

鈴木主査より編集委員の今後の活動や方針説明、写真撮影のレクチャーを受け、深夜から明朝まで熱



会館のモニタにて説明

に花を咲かせました。今回8名と少人数での参加でしたが、次回開催時には、参加者を増やそうと計画する声も聞かれた。

最後に、本会を企画いただきました同窓会本部役員の方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

大津 健（水戸）



懇親の様子

2025年度主な行事

今後、出来上がった記事を読んで「楽しかった」「行ってみようかな」と思える会報作成をめざしていきたい。

芳賀 裕希（93卒）

5月24日（土）	ボランティア活動
6月14日（土）	101回卒同期会
6月21日（土）	91回卒同期会
6月28日（土）	86回卒同期会
11月8日（土）	日専祭支援
11月8日（土）	76回卒同期会
11月15日（土）	71回卒同期会
11月15日（土）	ボランティア活動

*2025年度総会は、来年5月16日（土）開催となります。

2024年度

第110回卒業生

・高等課程：54名

諸先輩方の温かいご支援ご指導を
お願いします。

- ◎(株)日立製作所
- ・原子力ビジネスユニット
- 日立事業所（3名）
- 藤田 千尋 機械科
- 飯泉 大空 溶接科
- 大内 拓海 溶接科
- ・社会ビジネスユニット
- 大みか事業所（1名）
- 猪口 健太 電気科
- ・鉄道ビジネスユニット
- 水戸事業所（1名）
- 茅根 智史 溶接科
- 笠戸事業所（4名）
- 今井 康介 電気科
- 丸山 夏楓 電気科

- 難波 悠勝 機械科
- 益山 松 溶接科
- ◎(株)日立インダストリアル
- プロダクツ機械システム事業部
- ・土浦事業所（2名）
- 中山 和奏 機械科
- 松井 颯輝 溶接科
- ◎(株)日立インダストリアル
- プロダクツ 電機システム事業部
- ・大みか事業所（2名）
- 高橋 蒼翔 電気科
- 横倉 啓人 電気科
- ◎(株)日立ビルシステム
- ・水戸事業所（4名）
- 海老沼凛乙 電気科
- 大塚 美緒 電気科
- 佐藤 海斗 機械科
- 小又草一郎 溶接科
- ◎(株)日立ハイテク
- ・那珂地区（10名）
- 川崎 聡太 電気科
- 北川 蒼衣 電気科

- 木下 空宙 電気科
- 鈴木 駿弥 電気科
- 土屋 更紗 電気科
- 横田 俊介 電気科
- 小峰 琉唯 機械科
- 近内 悠 機械科
- 清水 明里 機械科
- 安田 莉久 機械科
- ◎(株)日立ハイテクマニファ
- クチャ&サービス（4名）
- 打越 浩和 電気科
- 崎川真之介 電気科
- 野田 苺峯 電気科
- 関根 慈紀 機械科
- ◎日立グローバルライフソ
- リユーシヨンス(株)
- ・多賀事業所（8名）
- 小澤 蓮 電気科
- 福谷 聡太 電気科
- 役田 朔弥 電気科
- 柳橋 優希 電気科
- 栗原 晴人 機械科
- 椎名 慧音 機械科
- 益子 颯静 機械科
- 山口 柚稀 機械科

- ・栃木事業所（3名）
- 大野麟太郎 電気科
- 佐藤 瑛史 機械科
- 吉松 煌貴 機械科
- ◎Astemo(株)
- ・佐和工場（5名）
- 鈴木 啓太 電気科
- 田中 龍伸 電気科
- 栗林 佳奈 機械科
- 鈴木 玲音 機械科
- 田久 真 機械科
- ・厚木工場（1名）
- 奥田 晶斗 機械科
- ・福島工場（1名）
- 草野 環太 電気科
- ・群馬工場（2名）
- 土屋 太一 電気科
- 原田 陽大 電気科
- ◎日立建機(株)
- ・常陸那珂臨港工場（1名）
- 藤本 幸聖 機械科
- ・龍ヶ崎工場（1名）
- 小澤孝次郎 溶接科
- ・土浦工場（1名）
- 熊澤 卓 溶接科

2025年度 事業所担当		
事業所	担当職員	
(株)日立製作所 エネルギー事業統括本部	日立事業所	鈴木(秀)
(株)日立製作所 原子力ビジネスユニット	日立事業所	鈴木(善)、中山
(株)日立製作所 社会ビジネスユニット	大みか事業所	溝口
(株)日立製作所 鉄道ビジネスユニット	笠戸事業所	萩谷、齊藤
(株)日立製作所 鉄道ビジネスユニット	水戸事業所	佐久間
(株)日立インダストリアルプロダクツ	日立事業所	南口
(株)日立インダストリアルプロダクツ	大みか事業所	溝口
(株)日立インダストリアルプロダクツ	土浦事業所	鈴木(巧)
(株)日立ニコトランスミッション		石塚
(株)日立ハイテク 那珂地区		工藤目良、小室
(株)日立ハイテク 笠戸地区		萩谷、齊藤
(株)日立ハイテク フィールディング		本名
(株)日立ハイテク マニファクチャ&サービス		高橋
(株)日立ビルシステム		五来
(株)日立プラントコンストラクション		湯ノ口
(株)日立プラントコンストラクション	たら崎工場	秋元
(株)日立プラントサービス		遠島
(株)日立産機システム 勝田事業所		松崎、川崎
(株)日立産機システム 多賀事業所		遠藤、鈴木(常)
日立グローバルライフソリューションズ(株)栃木事業所		細金
日立グローバルライフソリューションズ(株)多賀事業所		鈴木(常)、遠藤
日立三菱水力(株)		金澤
Astemo(株)福島工場		豊田
Astemo(株)佐和工場		秋元
Astemo(株)群馬工場		相良
Astemo(株)厚木工場		飯塚
Astemo(株)山梨工場		金澤
日立建機(株)		相馬
(株)プロテリアル 茨城工場		齊藤

学校だより

以下に記載の学年は、各学校行事実施時のものである。

技能五輪「電気溶接職種」茨城県大会

2月8日、本校を会場として2024年度技能五輪「電気溶接職種」茨城県大会が開催され、塙和樹さん（2年溶接科）が出場した。この大会は2025年度技能五輪全国大会の茨城県代表を選考する大会であり、本校の他に4会場で開催された。出場選手は卒業生5名、事業所実習中の大内拓海さん（3年溶接科）松井颯輝さん（3年溶接科）の2名と他3名の計11名で行われた。塙さんが本格的に圧力容器課題の製作を始めたのは昨年の10月からで、部活動剣道部」と両立しながらの訓練のため充分な訓練時間を確保できず、非常に過酷な挑戦であった。職業能力開発協会、技能検定員の立会で行われる公式の大会の出場は初めての経験で、表情からも緊張している様子が伺えたが、競技中は大きなミスをすることなく訓練通りの課題を作製することができた。課題の採点は2月12日に日立事業所にて各事業所の検定員、指導員により行われ、その結果茨城県代表選手として推薦された。

2年溶接科 塙 和樹

技能五輪茨城県大会を終えて、こ



課題に取り組む塙さん

れまでの訓練を振り返ってみました。まず初めに技能五輪に挑戦した理由は、不器用な自分を変え技能面での向上をめざし、人として成長をしたいと思ったからです。訓練は楽しいことばかりではなく、なかなか上手いかず悩むことが幾度もありました。本番前日に友人や先生方に沢山の応援の言葉をいただき、覚悟を決め大会に挑みました。競技が始まり大きな不安はありましたが、いつも通りの課題を提出でき、その時の達成感は間違いなく私の今までの人生で一番でした。この体験を通して、私は強い心を持ち頑張り続ける大切さと、周りの人の支えがあつてこの達成感が得られたことに気づきました。これから全国大会に向けて更に訓練を積んで、全国大会では県大会以上の達成感を得られるように頑張っていきたいです。

1学年宿泊研修・工場見学

2月19日から21日、3日間の日程で宿泊研修を実施した。普段生活している寮とは異なる場所に宿泊し、変化に対応する力や、様々なプログラムの中で集団行動を通しての協調性を養うことを目的としている。19日は、日立ハイテク（那珂地区）と日立Astemo（佐和工場）へお伺いし、事業所見学をさせていただいた。様々な製造現場と卒業生が勤務されている姿を見て、生徒は将来の自分の姿や仕事のイメージが湧いたようである。ご対応いただいた事業所の皆様および同窓会の皆様に、御礼申し上げます。

2日目は、宿泊先の「さしま少年自然の家」にて、「ASE研修（チームビルディング）」「昼食のBBQ」「オリエンテーリング」を実施した。



1学年宿泊研修（ろくろ体験）

3つとも、各グループのコミュニケーション力や協調性が必要とされる。年々、そのような力が幼くなっている年齢層であるが、四苦八苦しながらも皆でやり遂げる経験をすることができた。

最終日は「フォレストアドベンチャーつくば」で高所体験、笠間市の「松佐陶工房」にて陶芸によるものづくり体験を行った。高所体験は、ハーネスを装着して遊びの中で高所での不便さと安全について学び、陶芸では実際に「ろくろ」を回して作品に対するこだわりや集中力を学んだ。あつという間の3日間であったが、ここで得たたくさんの経験を今後の学校・寮生活で活かし、日専校生としてあるべき姿に近づけるよう、さらなる成長を期待している。

2学年宿泊研修

2月18日から21日、「軽井沢プリンスホテルスキー場」において、2学年の宿泊研修を行った。スキー技術はインストラクターの丁寧で熱心な指導のおかげで生徒全員のレベルが向上できた。最終日のフリー滑走では、各班のリーダーを中心とした事前ミーティングの実施により、RKY、報連相などを確認して出発し、全員が無事に終了できた。テーマ研修では、2年生を振り返って、ここまでのGoodアクション、Badアクションについて考え、ケースタディーからのディスカッションを行った。また、今の日専校生に足りないものなど、日専校生のあるべき姿、日専校生らしさについてディスカッションを実施した。さらに、今回延べ35人以上の生徒が様々な場面でスピーチを行った。かなり緊張していた生徒もいたが、このような経験をさらに積ませていきたいと思う。また、スキースクールの先生や、ホテルのスタッフ、食事スタッフの方々など、様々な場面でお褒めの言葉をいただいた。日頃の生徒の振る舞いが、このような場面でも発揮され、多少の失敗はあったものの、日専校生徒の良さとして成長を感じることができた。校外に出る機会を通して、気づき、学びがあり、改めて日専校の強みなど、職員、生徒と



2学年宿泊研修（軽井沢プリンスホテルスキー場）

（9頁へ続く）

(8頁の続き)

共に再確認できたものと思う。いよいよ最終学年への準備段階であるが、さらなる人間力向上をめざして欲しい。

生活体験発表日専校大会



生活体験発表会（優秀賞 大橋さんの発表）

3月12日午後、体育館において2024年度生活体験発表日専校大会が行われた。本来の生活体験発表会とは、全国高等学校定時制通信制教育振興会主催、今年で73回目を数える歴史ある大会のことである。そもそも主たる目的は勤労学生の顕彰であつたが、今や定時制通信制学校は勤労学生のためだけのものではなくなつた。現在、多様な学び方を求める生徒たちが入学し、発表内容も時代に応じて大きく変化している。ところで、日専校では今年度1、2年生の各クラス代表5名が学校生活や日常生活の中で得た自らの体験を懸命に語った。彼らの発見や感動

は聴く者の大きな共感を呼び、会は成功裡に終わった。優秀賞には2年機械科の大橋由依さんと2年溶接科の佐久間貴大さんが選ばれた。今後、ここからさらに1名が選ばれ、日専校代表として、東京都世田谷区の科学技術学園高等学校本校で7月に行われる東京大会へと駒を進める。

【発表者】〇優秀賞

- 海老澤瑠波（1年3組）
- 後藤 洸平（1年1組）
- 大橋 由依（2年機械科）
- 佐久間貴大（2年溶接科）
- 佐々木慧音（1年2組）

クラスマッチ



クラスマッチ（リレー競争）

3月14日、天候にも恵まれ、晴天の中クラスマッチを実施した。今回も昨年同様に、全種目スポーツ部門のみの「スポーツクラスマッチ」と称して実施した。種目はバレーボール、バスケットボール、バドミ

トン、サッカー、ソフトボール、リレー競走の合計6種目で争った。個人の特性を踏まえてメンバーを選出し、クラスで協力しながら団結する姿、さらに相互応援する姿が見られた。この戦いを制したのは、午後のバドミントンとリレーで1位を獲得し、大逆転で、2年機械溶接科が総合優勝。2年電気科が第2位となつた。今年度最後の体育行事であり、大いに盛り上がる事ができた。

【総合成績】

- 優勝 2年 機械溶科
- 第2位 2年 電気科

実習体験代表報告会

3月17日、日専校体育館において実習体験代表報告会を実施した。2月に12会場で実施された18事業所の実習生54名の報告会には校長・教頭・関係職員が出席し、クラス・性別・実習内容などのバランスを考慮して



実習体験報告会（高橋さんの報告）

8名の代表を選出した。今回の報告会は、卒業式に伴う3年生登校日の初日に開催することにより、3年生を含めた全校生徒が聴講することができた。発表者は職場や業務内容の紹介の他、失敗や改善の事例、苦労した点や今後の課題など自己評価や分析もされており、スライドの品質も十分であつた。堂々とした発表態度や質疑応答の姿を見て、約半年間の工場実習での大きな成長を感じることができた。就職後の職場での活躍を大いに期待している。

【代表報告者】

- 今井 康介（3年 電気科）
- 高橋 蒼翔（3年 電気科）
- 土屋 太一（3年 電気科）
- 野田 尊峯（3年 電気科）
- 佐藤 瑛史（3年 機械科）
- 田久 真（3年 機械科）
- 山口 柚稀（3年 機械科）
- 茅根 智史（3年 溶接科）

2024年度卒業式

3月19日、第110回日立工業専修学校ならびに第58回科学技術学園高等学校（科技高）の卒業式が日専校体育館で挙行された。今泉校長、科技高松田校長、ご来賓の日立製作所瀧本執行役常務、日工同窓会鈴木代表副会長からお祝いの言葉をいただいた。卒業生は、みな真摯な面持ちでそれぞれのメッセージを心に刻んだ。在校生を代表して2年電気科の菅野昂流さんから卒業生への



卒業式



クラスの仲間と卒業証書を胸に

感謝の言葉、また、卒業生を代表して3年間の思い出と感謝の言葉、そして社会人としての決意が述べられた。それぞれの思いが込められ、自らの言葉で語られた素晴らしい内容であつた。卒業生54名は日専校で培つ

(10頁へ続く)

(9頁の続き)

た人間力を大いに発揮し、職場の中心人財として活躍することを期待している。

2025年度入寮・入学式

4月7日、全国各地から75名の新生が入寮・入学式に出席した。今年も例年より桜の開花が遅れ、満開の桜が新生を迎えた。午前中は制服等の試着や荷物の整理、寮食堂で保護者も同席し、入寮説明会と新生入寮をサポートする寮役員、アドバイザーの紹介が行われた。これから始まる新たな学校生活に不安げな表情の生徒や、期待からわくわくした表情の生徒と様々であった。午後からは新しい制服に袖を通し、入学式に臨んだ。日立工業専修学校今泉校長、科学技術学園高等学校松田校長から新生および保護者に歓迎の言葉があり、日立製作所グローバルタレントマネ



75名の新生が入寮

ジメント部小林担当部長から学校管理者の言葉をいただいた。また、在校生を代表して3年電気科の佐久間貴大さんから在校生歓迎の言葉があり、新生を代表して泉谷南月さんから入学生誓いの言葉があった。式典終了後にはさっそく先輩、新生同士との交流を深めるべくチームビルディングを行った。これからの3年間、この学び舎でたくさんの方を経験して成長し、世界に羽ばたく社会人をめざして欲しい。



入学式

新生入寮歓迎会

4月9日、体育館で新生入寮歓迎会を実施した。1週間の導入期間中、新生の生活をサポートする寮役員が新生一人ひとりを紹介し、新生もまた先輩たちに元氣よく挨拶した。その後、吹奏楽部による歓迎コンサートが行われ、終始和やかな雰囲気であることができた。新生

にとつては環境も変わり、しばらくは慌ただしい日々が続くが、日専校生としての第一歩を踏み出した。これからの3年間、様々な経験を通して日本のモノづくりを支える人財に成長して欲しい。



新生入寮歓迎会（吹奏楽部による演奏）

離任者紹介

真田 正孝先生（86卒）

出身事業所…（株）日立ハイテク
担当教科…機械実習



4月1日付で
原籍の（株）日立ハイテクへ戻ることにしました。日専校で

の3年間で、実習の授業、クラス担任、部活動顧問と、違う立ち位置から生徒と接し、時代の流れと共に変える事、変えてはいけない事を身にしみて感じました。職場においても

この経験を基に、尽力していきます。在任中にお世話になりました関係各位に厚く御礼申し上げます。

新任者紹介

目良 優也先生（96卒）

出身事業所…（株）日立ハイテク
担当教科…電気実習



自分が生徒だった15年前と比べると、日専校に求められているスキルはか

なり高度になっていと感じています。安全意識はもちろんのこと、自発的な行動力を養う取り組みやデジタル学習への取り組みなど、どんどん進化しています。先生になった立場でも、こういった取り組みを学びながら、高度なスキルを効果的に教えられるよう努力していきたいと思っています。

工藤 雄大先生（84卒）

出身事業所…（株）日立ハイテク
担当教科…機械実習



母校である日専校に恩返しができるように精進して参ります。これまで会社生

活で培ってきた経験を基に時代の変化に対応した日専校のキャリアキュラムを生徒と共に成長していきたいと思っています。ご指導ご鞭撻の程よりしくお願いいたします。

川崎 清勝先生（101卒）

出身事業所…（株）日立パワー
ソリユーションズ

担当教科…溶接実習



在学中には教諭として日専校に帰って来ることなど想像もしていませんでした。

た。他の先生方に比べたら、現場での経験等は少ないですが、生徒との年齢も近い分生徒に寄り添って、共に学んで行けたらと思います。不慣れな点も多くご迷惑かけることもあるかと思いますが、私なりに頑張っ

中山 隆一先生（68卒）

出身事業所…三菱重工（株）
担当教科…機械実習



今年度より日専校で機械実習を担当します。私が在学していた当時からみる

と大きく学校のあり方も変わり、時代にあった企業内学校と感じます。私が在学していた時に現在の校舎、食堂に建て替えられ、旧校舎、新校舎で学ぶ経験ができ、昔の記憶がよみがえります。実習授業の他、寮業務、部活動（野球部）も担当しますので、日常から生徒と接し人財育成に貢献できるよう努めて参ります。

2025年度本部会員運営委員会役員決まる

2025 年度本部会員運営委員会役員及び卒回代表者が下表の通り決定した。

前年度に引き続き主査を務めて頂く上野栄一氏 (54 卒) を中心に、5 月 24 日 (土) に予定している第 6 回ボランティア活動を皮切りに、2025 年度の活動を進めていく。

現在、新型コロナウィルス感染症は、感染症法上の分類がインフルエンザと同等の 5 類となっている。しかし、高齢者にとっては重症化の危険があり、最近では感染拡大の兆候もあることから、ウィズコロナのもと感染対策をしっかりと行い、本部活動、地区活動、同期会活動を活発に行い、本部会員にとって充実した 1 年としたい。

委員会役員名簿

太字：新任

担 当 委 員 会		氏 名	卒回	地 区 名
本部会員運営委員会	主 査	上野 栄一	54	日立中部Ⅱ
	副 主 査	戸村 紀一	58	高 萩
総 務 小 委 員 会	主 査	荻野 常美	53	日立中央
	副 主 査	八百 律	58	高 萩
企 画 小 委 員 会	主 査	小室 道男	59	日立中央
	副 主 査	上野 栄一	54	日立中部Ⅱ
	委 員	田中 満	59	日立中央
	委 員	根本 満	61	日立中部Ⅰ
	委 員	星 憲一郎	62	日立中部Ⅰ
	委 員	齋藤 貴広	64	ひたちなか
編 集 小 委 員 会	主 査	戸村 紀一	58	高 萩
	副 主 査	小島喜代一	48	日立中部Ⅰ
	委 員	鈴木 康弘	58	日立中央
	委 員	長峰 省三	58	高 萩
地区活動小委員会	主 査	長峰 省三	58	高 萩
	副 主 査	関根 幸一	44	ひたちなか
	委 員	松崎 清英	61	日立中央

卒回代表者名簿

卒回	正	副
41	渡邊 康男	高橋 重昭
42	齋藤 實則	渡辺 一郎
43	綿引 明	山本 正美
44	関根 幸一	笹島 弘
45	田所 賢二	力丸 晴
46	永盛 栄一	篠原 昭裕
47	川村 豊	瀬谷 武司
48	宇原 勝己	千田 政見
49	山崎 輝雄	飯川 充男
50	関 猪一郎	萩野谷泰伸
51	金澤 和彦	生田目寿男
52	長嶋 忠光	石田 正喜
53	榊原 愛正	佐藤 茂次
54	大森 晴男	大友 博
55	大森 一夫	豊田 英雄
56	内山 薫	高岡 秀美
58	戸村 紀一	荻野目 完
59	小室 道男	白庭 晋一
61	児島 強	松崎 清英
62	星 憲一郎	江尻 弘人
63	箭内 光人	宮本 弘行
64	檜崎 博幸	菅野 正
65	堀江 弘昭	清水頭孝悦
66	田中 尚	三上 豊
67	橋本 英憲	尾形 雅彦
68	松本 達夫	石川 克利

地区役員名簿

	地 区 長	平塚 宣行	58	日立北部
	副地区長	櫻村 文夫	52	
	地 区 長	杉山 貞男	51	日立中央
	副地区長	大内 正典	52	
	地 区 長	岡部 健	50	日立中部Ⅰ
	副地区長	榊原 愛正	53	
	地 区 長	上野 栄一	54	日立中部Ⅱ
	副地区長	益子 元好	48	
	副地区長	工藤 昭一	49	
	地 区 長	川村 豊	47	日立南部
	副地区長	斉藤 清一	45	
	地 区 長	荻野目 完	58	東 海
	副地区長	藤本 修三	62	
	地 区 長	関根 幸一	44	ひたちなか
	副地区長	綿引 明	43	
	地 区 長	神永 克雄	54	北茨城
	地 区 長	長峰 省三	58	高 萩
	副地区長	山崎 輝雄	49	
	地 区 長	金澤 和彦	51	日立十王
	地 区 長	甲賀 勇雄	58	常陸太田
	副地区長	黒羽 満	58	
	地 区 長	菊本 康司	49	那 珂
	地 区 長	押野 勝	59	水 戸

2025年度の主な行事

行 事 名	開 催 日
ボランティア活動	5/24(土)
グラウンドゴルフ大会	6/13(金)
運営会議(前期)	9/12(金)
わが宿の集い	9/20(土)
グラウンドゴルフ大会	9/26(金)
ボランティア活動	11/15(土)
運営会議(後期)	2/20(金)
総会	5/16(土)



第4回グラウンドゴルフ大会

- ◆日 時：6月13日(金) 8時半～
- ◆場 所：鵜の岬 (芝生広場)
- ◆会 費：2,000円

参加申込者は、
事務局まで連絡下さい！
☎0294-21-5237

東海地区

第9回懇親会開催

3月1日(土) 十六時〜東海村大山台にあるスナック「ゆり」にて、



第9回東海地区懇親会を開催した。スナック「ゆり」は、東海村においては、高級スナック?として自負。今回は41〜68卒の10人が参加、人数的には若干寂しい参加人数とはなったが、参加者で最年長の高橋重昭氏(41卒)は今年、米寿を迎え東海村から表彰されとの事。

また、石川克利氏(68卒)は定年を迎えたばかりのピカピカのOB一年生である。

少子高齢化の中で若い新人が入会してくれる事は東海地区にとって、うれしいことと参加者一同、大歓迎であった。

地区長の挨拶の後、新人の石川氏による挨拶を兼ねた乾杯の音頭で開宴となった。

参加者全員の近況報告を頂き、のどの潤いも絶好調となり、カラオケタイムで盛り上がった。

荻野目 完(58卒)

讃求会(39卒)より

同窓会に寄付

3月27日(木)、矢代克己氏(39卒)が来館し、讃求会一同様より残会費のご寄付をいただきました。

ご寄付額 四万六千三百三円也

讃求会は、「ぶらり旅紀行」で会報に幾度も掲載されていましたが、傘寿記念総会をもって解散しました。これからは、集まれる有志で集まろうと昨年の5月26日にオリジンパークと母校を見学しました。

(会報460号10頁参照)



讃求会会員・39卒会員の皆様へ寄付ありがとうございました。讃求会会員の皆様の末永いご健康とご多幸を祈念いたします。

事務局・石井 浩(58卒)

コラム

「こだわり人生」第7回

小島喜代一(48卒)

会計システムの

デジタル化

会計はお金の出入れ、収入と支出残高で表せる。予算と実算、残高ともいえる。国会の委員会にも予算委員会、決算委員会があり国のお金などを審議している。

ところで、皆さんの家庭では家計簿をつけていますか。家計簿にもいろいろな種類があり、たとえば「年金家計ノート」。収入欄には年金支給月に夫と妻の年金額記入欄がある。年金生活者に寄り添うかんたん家計簿だ。

家計簿をつけたから財産が増えて、つけないから赤字になるとは、必ずしもいえない。まあ、各家庭のことだからどつちでも良いかもしれない。しかし、会費を預かって運営している同窓会はどうだろうか。

同窓会の会計システムは、収支報告書、月次決算報告書、月別収入・支出内訳表、支部別会費納入状況など月毎のほか、年次決算報告書があり、それらすべてを電卓で手計算していた。

電卓の計算は加減の計算が正しい

かどうか最低二回は計算が必要で手間がかかる作業だ。

その後、事務局のまとめ者が変わり、市販の会計ソフトを購入したが、同窓会の会計システムと合わず、月間出納帳のみの一部を利用するにとどまった。

そこで、同総会の会計報告に沿ってプログラムすることにした。プログラムの合計は印刷すると、なんと百三十頁にも及んだ。

会計業務に精通していないと使い易く正確なプログラムができないので、会計担当者によく打ち合わせてプログラミングした。

収支報告書の項目ごとの数値は会費を運用している銀行通帳の項目と一致していなければならない。

どの通帳の何頁の何項なのかをひも付けている。

収入は正会員・本部会員の会費、利息などの雑収入に分類される。預金通帳のお預かり金額欄の数値だ。

支出は各委員会や事務局発行の支出依頼書による。預金通帳のお支払金額欄の数値だ。

通帳に記載された数値と同じ数値をプログラムに入力すると、それぞれの会計帳票が作成される。

名簿システムと同様、同じ数値を何度も入力することはない。同じ数値はプログラムで読み取り、コピーしている。

日専校歴史写真【19】「芝内寮での工場出勤前の点呼」1919（大正8）年 1937（昭和12）年

●1919（大正8）年

創立当時は午前中に学科授業を2時間程行い、その後は工場実習であり、朝7時から午後4時までの日課であった。工場へ出勤する前に徒弟寮で点呼があり、1～3年生が寮前の広場に整列した。写真で右と奥の建物がいずれも寮である。右の寮の右奥に宮田川が流れていた。

当時3年生の8卒福田東男氏談「1年生が左側、2年生が中央、3年生が右側であった。朝礼で舎監から訓示を受けて工場へ行く。会社を欠勤する生徒と賄いさんも参加している」

●1937（昭和12）年

芝内の寮は1934（昭和9）年に増改築された。次の写真は1937（昭和12）年に撮影したもの。右が教室、左が寮である。

毎朝、実習出勤前に朝礼と点呼を行っていた。実習は、山手、海岸、電線の各工場に団体で出勤していた。

この写真の翌年、1938（昭和13）年にこの芝内に入學した28卒の方の「自分史」が日専校に寄贈されている。ここから芝内の様子や授業を回

顧した部分を要約して掲載させていた

く。『入学早々の学び舎は、タンパン（日鉱の電鍍から放出された硫酸銅溶液）の悪臭が漂う宮田川のほとりにあった。狭い敷地内には、古い木造の平屋に3教室と事務棟、浴場、銃器庫、2階建ての寮舎2棟と大食堂があつて、校庭らしきものはなかった。学科と実習の比率は、1年次は週の3日が学科、残りが基礎実習、2年次は週の2日が学科、残りが配属先の実習、3年次は週の1日が学科、残りが配属先の実習で、理論より実技を優先させていた。実習先は将来の職場で、2年の進級時に決定した。学科は、国語、漢文、数学、英語、物理、化学、力学、電気工学、機械工学など。時間の制約もあつたためか、教養科目の歴史、地理、生物、古文などはなく、徹底した技術重点教育であつた。生活では給費制度をとっており、衣食住の費用は一切会社負担、その上、最低限の小遣いが支給された。寮生の月々の小遣いは、1年次が1.5円、2年次と3年次が2.5円と記憶している。通勤生は食費相当分として更に10円が支給された』

※本連載では日工同窓会報（記念会報告）から引用する場合があります

同窓会ホームページ 歴史写真館 ユーザー名rekishi

パスワードoban100



1919（大正8）年 工場出勤前の点呼 左側から1年生、2年生、3年生



1937（昭和12）年 増改築後の芝内寮での点呼、右が教室、左が寮

会員の消息

◎定年退職

ご苦労さまでした



浅野目 悟氏（68卒・水戸24・11・30）
益子 丈司氏（68卒・水戸25・1・31）

小島 勝利氏（68卒・水戸25・2・28）

本田 活巳氏（68卒・旭25・2・28）

須崎 昭二氏（68卒・佐和25・2・28）

中村 洋一氏（68卒・佐和25・2・28）

高安 博明氏（68卒・日立25・3・31）

渡部 勝巳氏（68卒・日立25・3・31）

鈴木 由紀夫氏（68卒・土浦25・3・31）

◎退職

渡辺 哲平氏（107卒・土浦25・2・28）

船橋 大生氏（98卒・土浦25・3・15）

鈴木 諒氏（96卒・那珂25・3・31）

小林 海斗氏（108卒・那珂25・3・31）

◎職場変更

内山 颯氏（108卒・佐和25・3・1）

佐和支部→佐和福島へ

新田 隼生氏（108卒・佐和25・3・1）

佐和支部→厚木支部へ

小河原悟史氏（108卒・佐和25・3・1）

佐和支部→佐和山梨へ

◎会員逝去

謹んでご冥福を

お祈りいたします

◎本部会員

小森 進氏（52卒） 25・1・12

佐川 汎氏（42卒） 25・2・19

国井 秀文氏（38卒） 25・3・8

木村 正孝氏（47卒） 25・4・4

◎ご家族逝去

お悔やみ申し上げます

櫻井 義文氏（72卒・本部） 25・2・1

村上 貴氏（84卒・多賀） 25・2・24

渋井 克己氏（74卒・日立） 25・3・3

遠藤 正樹氏（75卒・日立） 25・3・7

（母堂25・4・4）



新年度は出会いと別

れが付いて回ると言わ

れるが、それは思いが

けなく突然訪れるもの

で、今生の別れが続いてしまった。

まさに青天の霹靂である。

人間の致死率は100%であるため、

どんなに地位や名譽、お金があろう

とも最後の最後は決まっていること

とは判っているが、改めて自分の

これまでをしみじみと振り返る機会

となった。

“人に歴史あり”であり色々な経

験が積み重なっている。この同窓会

に至っては非常に長い長い歴史があ

り数々の出来事がある。その歴史を

途切れさせることなく、皆にとつて

より良い同窓会となる様な活動をし

ていきたいものである。

（之）

▼5月に入り暖かい日が多くなる季

節となった。GW大型連休ではお花

見やBBQなど楽しめたのではない

いか。▼こどもの日や母の日などイ

ベントが多い月でもある。GWに帰

省した際、こいのぼりが優雅に泳い

でいた。懐かしさを覚えたが、昔に

比べ数が少なく時代の移り変わりを

感じた。▼最近、物価が高い。特に

騒がれているのはお米だろうか。物

価は上昇するが所得はあまり変わら

ないと感じる。もつとがんばろうと

思った。

（貴）

2025

日専校オープンスクール & 説明会のお知らせ

07.19(土)

08.22(金)

9:00~12:30

09.06(土)

10.11(土)

日専校オープンスクール

申込み要

内容：学校説明、生徒の案内による構内見学、
実習体験（希望制）

HPより申し込み

5月～8月

日程や場所は
各事業所内に掲示される
ポスターでご確認ください

学校説明会 in各事業所

平日の定時後

内容：生徒募集担当による学校説明
資料のみお持ちいただくのもOKです！

事業所にもよりますが、原則、ご家族は入場できません
お子様のご参加を検討されている方は
オープンスクールにご参加ください

05.10(土)10:00～

学校説明会 in熊本県

場所：熊本市国際交流会館 4階
内容：学校説明・質疑応答

08.04(月)17:00～

学校説明会 in山口県

場所：JR徳山駅 徳山駅前図書館
内容：学校説明・質疑応答

08.05(火) 9:00～

学校説明会 in笠戸事業所

申込み要

場所：日立製作所 笠戸事業所
内容：学校説明・事業所見学・質疑応答

08.09(土),10(日)

学校説明会 in青森県

内容：学校説明・質疑応答

8月9日(土)13:00～ JR八戸駅前 ユートリー

8月9日(土)17:00～ JR青森駅近く アスパム

8月10日(日)10:00～

JR五所川原駅 五所川原市民学習情報センター

お知らせにもご紹介ください！ご参加お待ちしております😊

日専校HP



日専校Instagram

